第 24 講
清とその周辺

まず清の帝室，愛新覚羅（アイシンギョロ）氏 12 人の君主名の確認。
1 (1)〔　　〕，2 (2)〔　　〕，3 (3)〔　　〕，4 (4)〔　　〕，5 (5)〔　　〕，6 (6)〔　　〕(1735 ～ 1795 年）ここまでが元気。翌 1796 年の**白蓮教徒の乱でこけはじめ**，7 (7)〔　　〕，8 (8)〔　　〕，9 (9)〔　　〕(**妻が西太后**)，10 (10)〔　　〕，11 (11)〔　　〕，12 (12)〔　　〕がラストエンペラー。

アルタイ語系の (13)〔　　〕系 (14)〔　　〕族建州部の (15)〔　　〕は (16)〔　　〕年に (17)〔　　〕を建国。かれらは自らを (18)〔　　〕と名乗る。1619 年には，明を (19)〔　　〕で圧迫する。(20)〔　　〕という軍事組織をつくる。(21)〔　　〕は 1635 年にモンゴル系の部族 (22)〔　　〕(タタール部の末裔）を滅ぼし，(23)〔　　〕年には国号を (24)〔　　〕とする。この頃の中心地は (25)〔　　〕だった。

明では過酷な税に対し，しばしば (26)〔　　〕運動が起きていたが，とりわけ 1631 年にはじまる (27)〔　　〕の乱の結果，毅宗崇禎帝が首吊り自殺して (28)〔　　〕年明は滅亡，北京の (29)〔　　〕の主は李自成となる。満州との境，(30)〔　　〕を明の遺将 (31)〔　　〕が守ったが北京の美人妻を李自成に取られると，怒って満州人を北京に手引きした。こうして (32)〔　　〕年に満州人が北京に入城し幼い (33)〔　　〕が紫禁城の主となり，満州人の北京支配がはじまった。呉三桂らは (34)〔　　〕として華南を支配した。

ところで明王室は 1628 年に海賊の親分だった (35)〔　　〕という人物に，清と戦うよう頼み兵力と資金を渡した。

【康熙帝】次の康熙帝は (36)〔　　〕年（ルイ 14 世が親政を開始した年）に即位した。1661 年には (37)〔　　〕を出して中国沿海の住民に奥地への強制移住を命じ鄭氏台湾の孤立を図る。華南を直接支配しようとして (38)〔　　〕年から呉三桂らによる (39)〔　　〕が起き 1681 年に平定し，(40)〔　　〕年には (41)〔　　〕台湾を攻略し中国を統一した。鄭氏の反清運動に，のちの鄧小平の祖先が参加している。ちなみに鄭芝竜の子 (42)〔　　〕(近松門左衛門『**国性爺合戦**』）は 1661 年に台湾から (43)〔　　〕を駆逐していた。

解答

（1）ヌルハチ　（2）ホンタイジ　（3）順治　（4）康熙　（5）雍正　（6）乾隆
（7）嘉慶　（8）道光　（9）咸豊　(10) 同治　(11) 光緒　(12) 宣統帝溥儀
(13) ツングース　(14) 女真　(15) ヌルハチ　(16) 1616　(17) 後金
(18) マンジュ（満州）　(19) サルフの戦い　(20) 八旗　(21) ホンタイジ
(22) チャハル部　(23) 1636　(24) 清　(25) 瀋陽　(26) 抗租　(27) 李自成
(28) 1644　(29) 紫禁城　(30) 山海関　(31) 呉三桂　(32) 1644　(33) 順治帝
(34) 三藩　(35) 鄭芝竜　(36) 1661　(37) 遷界令　(38) 1673　(39) 三藩の乱
(40) 1683　(41) 鄭氏　(42) 鄭成功　(43) オランダ人

清は漢民族を (44)〔　　〕として軍事組織化した。漢民族にたいしてはアメとムチで対応。アメとしては科挙を奨励し (45)〔　　〕で漢民族の頭脳を登用，ムチとしては (46)〔　　〕を出し拒めば死刑，また (47)〔　　〕で反清思想を弾圧した。

北にロシアが (48)〔　　〕を築くと交戦，(49)〔　　〕年の (50)〔　　〕でロシアの (51)〔　　〕と (52)〔　　〕川と (53)〔　　〕山脈を境とした。康熙帝の命で編纂された字書が (54)〔　　〕，百科事典が (55)〔　　〕。そして康熙帝のとき，(56)〔　　〕と新税制 (57)〔　　〕がはじまった。

典礼問題とは何か。**中国人カトリック教徒が孔子や祖先崇拝の儀礼（典礼）に参加することの可否をめぐる論争**のことだ。**イエズス会は典礼を容認，ドミニコ派・フランチェスコ派は否定**した。（教皇クレメンス 11 世は典礼を否認）(58)〔　　〕は典礼否認諸派の中国伝道を禁止（1706 年），(59)〔　　〕はキリスト教布教を全面的に禁止した。（1724 年）

康熙帝は 1711 年以降増えた人丁は丁銀を免除する盛世滋生人丁（せいせいじせいじんてい）を実施。それは雍正帝で地丁銀になる。背景として富裕地主（じぬし）が丁数（ちょうすう）（成年男子）をごまかしていたことと貧困農民の未納増加がある。**新大陸からはいってきたジャガイモやトウモロコシのおかげで食糧事情がよくなり人口が増えたのだ。地丁銀とは，丁銀（ていぎん）（人頭税）を地銀（ちぎん）（地税）に組み込み一括徴税すること**で，結果として**人頭税が廃止**された。

【雍正帝】(60)〔　　〕のときの (61)〔　　〕年の (62)〔　　〕で**モンゴルとシベリアの国境が確定**，キャフタは (63)〔　　〕の南だ。側近による政治が深化し (64)〔　　〕が設置された。

【乾隆帝】(65)〔　　〕年～ (66)〔　　〕年は (67)〔　　〕の治世である。モンゴル系オイラトの末裔で最後の遊牧帝国 (68)〔　　〕の拠点イリを落とし，イスラーム系トルコ人ウイグル族の (69)〔　　〕つまり (70)〔　　〕（(71)〔　　〕盆地，その大半が (72)〔　　〕砂漠）と合わせて (73)〔　　〕とした。また，(74)〔　　〕も支配下におき，こうして**満漢蒙回蔵の五族支配が完成**，現在の中華人民共和国（ちゅうかじんみんきょうわこく）の領土の原型が整った。土着の有力者による支配を改め（改土（かいど））漢人を中央から派遣する（帰流（きりゅう））明代以降の統治策，(75)〔　　〕が受け継がれた。言語が通じることにより，現地勢力とむすんで反乱を起こすのを防ぐためだ。

外モンゴル，新疆，チベット，青海（せいかい）を総称して (76)〔　　〕といった。また藩部の管理事務機関を (77)〔　　〕という。満漢が直轄地，蒙回蔵が藩部だ。

乾隆帝の命で編集された百科事典が (78)〔　　〕。５民族の言語対比辞典が (79)〔　　〕だ。

解答

(44) 緑営（りょくえい）　(45) 満漢偶数官制（まんかんぐうすうかんせい）　(46) 辮髪（べんぱつ）（弁髪（べんぱつ））令　(47) 文字の獄（もんじのごく）
(48) アルバジン城　(49) 1689　(50) ネルチンスク条約　(51) ピョートル１世
(52) アルグン　(53) スタノヴォイ＝外興安嶺（そとこうあんれい）　(54) 康熙字典（こうきじてん）　(55) 古今図書集成（ここんとしょしゅうせい）
(56) 典礼問題（てんれい）　(57) 地丁銀（ちていぎん）　(58) 康熙帝　(59) 雍正帝　(60) 雍正帝　(61) 1727
(62) キャフタ条約　(63) バイカル湖　(64) 軍機処（ぐんきしょ）　(65) 1735　(66) 1795
(67) 乾隆帝　(68) ジュンガル　(69) 回部（かいぶ）　(70) 東トルキスタン　(71) タリム
(72) タクラマカン　(73) 新疆　(74) チベット　(75) 改土帰流　(76) 藩部（はんぶ）
(77) 理藩院（りはんいん）　(78) 四庫全書（しこぜんしょ）　(79) 五体清文鑑（ごたいしんぶんかん）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 24 講　テスト

1　次の事象を古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　清の北京入城（入関）

②　後金の建国

③　李自成の乱

④　明の滅亡

2　康熙帝の治世中でないものは。

①　台湾を征服

②　軍機処の設置

③　三藩の乱を鎮圧

④　ネルチンスク条約

3　乾隆帝の治世中でないものは。

①　チベットを征服

②　ジュンガルを征服

③　広州に公行を設置

④　地丁銀はじまる

4　黄帽派の開祖は。

①　ガルダン

②　ダライ＝ラマ

③　ツォンカパ

④　ソンツェン＝ガンポ

5　朝鮮が唯一中国の伝統文化を継承しているという思想は。

①　両班

②　夷狄

③　小中華

④　国学

第 24 講　テスト解答

1　④　　2　②　　3　④　　4　③　　5　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。